

科学技術と社会 ―農学を取り巻く最近の状況―

―日本農学アカデミーミニシンポジウム―（報告）

主 催：日本農学アカデミー学術情報委員会

日 時：2007年7月7日（土）15：00～16：50

場 所：東京大学農学部3号館教授会室

参加者：約20名

開催趣旨：

地球温暖化問題は IPCC 第4次評価報告書の発表によって新しい局面に移ったと思われ、温暖化の食料生産への影響やバイオエネルギー問題など農学を取り巻く状況も日々変化している。ほかにも最近は科学技術と社会の関係に関わる多くの問題が噴出している。

そこで日本農学アカデミー第10回総会を機会に、唐木英明、三輪睿太郎の両副会長に農学を取り巻く身近な話題をご提供いただき、質疑応答及び自由討議を通じて日本農学アカデミーの役割を考える。

プログラム

1. 話題提供「科学の不正と利益相反」
唐木英明（日本農学アカデミー副会長、日本学術会議第二部長）
2. 話題提供「実学と社会」
三輪睿太郎（日本農学アカデミー副会長、東京農業大学教授）
3. 質疑応答および自由討議
司会：太田猛彦（日本農学アカデミー学術情報委員会委員長）

*本シンポジウムは公開シンポジウムですが、日本農学アカデミー会員間での質疑応答・討議を中心とした“ミニシンポジウム”の形式で開催いたしました。